

介護現場における より良い職場環境づくり

輝く女性管理職ネットやまぐち グループA

●山崎 美子 藤山 千佳子 瀬川 裕子 鵜川 博子
岩本 千恵子 天野 育子



テーマの目的・達成目標



目的

介護現場において、全職員が働き方や個人の生活を見つめ直し、いきいきと働き続けられる職場づくりを推進する



達成目標

- ☆働きやすい職場環境づくり
- ☆職員の定着率UP！！
- ☆仕事と家庭の両立

背景

- ・ 介護の現場では、多職種が勤務しており年齢層が幅広いため連携が取りにくい
- ・ 変則勤務や夜勤があり、家庭との両立が難しいため、育児中の人退職してしまう
- ・ 介護の専門性が低く見られ低賃金であるため、就職希望者が少ない
- ・ 人員不足が続き、時間外労働が増えるなど、職場環境の悪化から離職率が高い
- ・ 利用者が重度化しており、心身の負担が大きい
- ・ メンタルサポートがないため、ストレスがたまり退職してしまう

課題

- 勤務時間の工夫
- 賃金・処遇の改善
- 職員の資質の向上
- 多職種間の連携強化
- メンタルサポート
- 育児休業復帰後の支援
- 地域格差の問題

解決に向けた方向性

働きやすい職場作りを目指す！！

課題解決のための施策

☆ 法人施設単位での取組

- ① 定着率UPのために ⇒ 勤務時間の工夫
賃金の見直し
福利厚生充実
- ② 育児支援のために ⇒ 育休復帰支援プログラム
勤務時間の工夫
- ③ メンタルヘルス ⇒ 相談体制整備
職員研修制度
メンター制度
- ④ 地域のボランティア参画 ⇒ 傾聴・環境美化・行事への参加

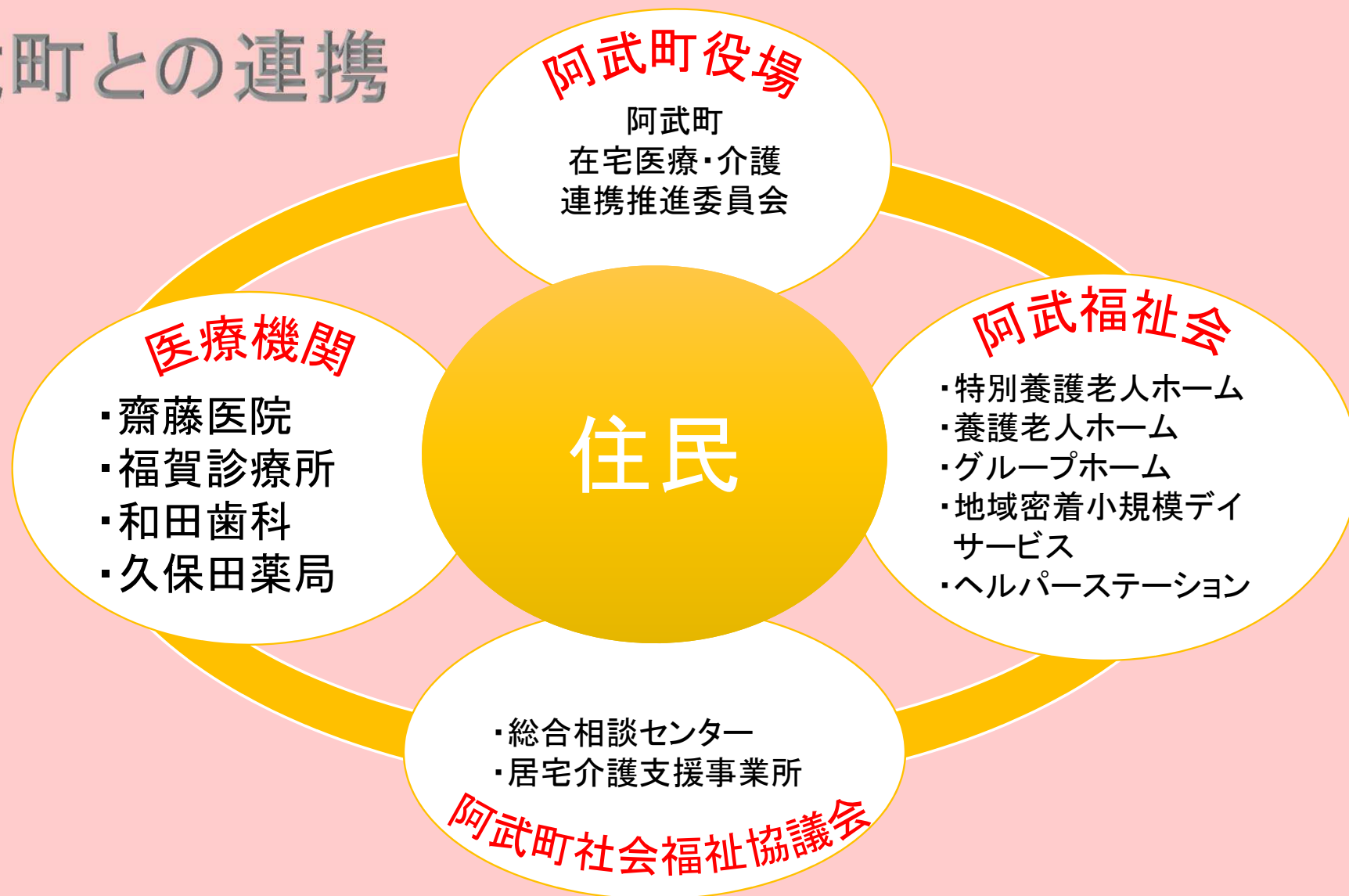
介護現場におけるより良い職場環境づくり：



笑顔ある職場

～仕事も充実、家庭も充実、子育ても充実～

阿武町との連携



福祉現場の現状 ～離職率が高い～

現状	原因	阿武福祉会	阿武福祉会の取組
人間関係が悪い	多職種である 年齢層が広い	多職種の連携が取れている	何でも言える関係づくり アットホームな施設づくり
家庭との両立が難しい	変則勤務である	家庭状況に合わせた 勤務体制をとっている	本人の意向を重視
時間外労働が多い	時間内に仕事が終わらない	会議や勉強会が多い	業務改善 時間内で実施
給料が安い	介護の専門性が低いと 思われがち	人件費率が高い	時間外手当の支給
職場環境が悪い (育休明け、育児中)	人員不足	優遇されている	家庭状況に合わせた 勤務体制をとっている
重労働である(心身)	責任が重い(特に夜勤) 重度化している	責任が重い(特に夜勤) 重度化している	介護知識・技術の向上 (苑内外研修にて)
メンタルサポートが無い	メンタルが弱い 理解が薄い	職員の状態を把握	定期的に話を聞く時間 を持つ

➡ 阿武福祉会は離職率が低く、定着率が高い！

仕事も充実、家庭も充実、子育ても充実のために・・・

働きやすい環境

ハード面「業務改善！」

- ◆定時に退勤できる
- ◆時間内での会議や苑内研修を行う
- ◆育児休暇や休暇明けの勤務体制を
本人の要望を聞く
- ◆子どもの病気の際には、柔軟に対応
する(休み、早退、子供同伴出勤等)

ソフト面「アットホーム♪」

- ◆多職種との連携・協働がしっかりと出来
ている
- ◆職員の意見・要望を聞く耳を持つ
- ◆お互いを思いやる事が出来る
(チームワーク)
- ◆みんな平等の考え方をしている
- ◆職員の状態を把握している



だから、**楽しくいい仕事ができる！**

笑顔で❤️





・自治体等への要望

- ① 定着率UPのために・・・各種助成金制度の充実
介護ロボットレンタル制度
- ② 育児支援のために・・・保育所の増設
保育時間の延長
病児保育所の設置
夜間保育
学童保育の延長
- ③ メンタルヘルスアドバイザーの派遣
- ④ 弁護士無料相談窓口の設置

まとめ

- ・各法人施設ができることについて、しっかり検討し取り組みを進めるとともに、自治体の制度・仕組みを充分活用しながら、福祉・介護現場が働きやすい環境となり、利用者によりよいサービスを提供できる職場を目指そう！！

～ご清聴ありがとうございました～

